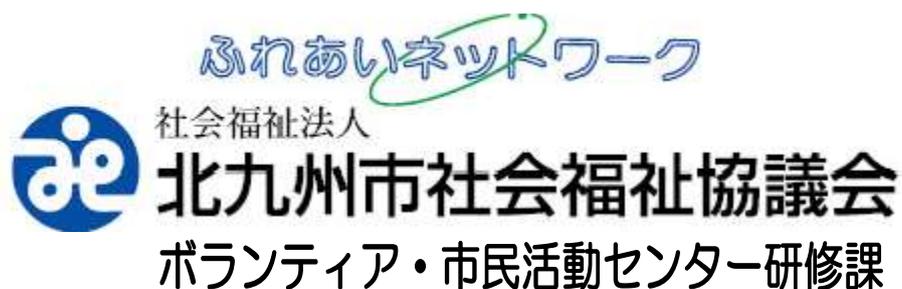


平成28年度
北九州市社会福祉ボランティア大学校

事業報告書



目次

1	事業の総括	1
2	研修実施状況一覧	2～5
3	研修実施内容	
	(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
	○ まちづくりセミナー	6～7
	○ ふくしのまちづくり講座	8～21
	(2) 地縁型ボランティアの育成	
	① 新任者	
	○ 新任福祉協力員等研修	22～37
	② 現任者	
	○ 現任福祉協力員等研修	38～51
	○ 地域福祉活動専門研修	52～53
	③ 役員	
	○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	54～55
	○ 校(地)区社協新任役員研修	56～57
	○ まちづくりゼミナール	58～59
	(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
	① 入門者	
	○ 傾聴ボランティア養成講座	60～61
	○ 福祉有償運送運転協力者研修	62～73
	○ 私にもできる災害ボランティア入門講座	74～75
	② 活動者	
	○ 傾聴ボランティア・フォローアップ研修	76～77
	○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修	78～79
	○ 災害ボランティア・フォローアップ研修	80～81
	③ リーダー	
	○ ボランティア・リーダー研修	82～83
	(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成	
	○ 企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	84～85
	(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
	○ ボランティア・コーディネーター研修	86～87

1 事業の総括

北九州市社会福祉ボランティア大学校では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第五次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、民生委員・児童委員協議会や社会福祉施設等と連携しながら、高齢者、生活困窮者、認知症のある人、引きこもり等の課題を抱えた人たちを支援するために、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人では公益的な取組みを実施することが規定され、今年度重点的に取り組んだ「企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」では、102名もの多くの参加者が集まり、法人の社会貢献担当者等に社会福祉法人が地域の一員として貢献活動をすることの意義・重要性等を学ぶ中で、法人制度改革に向けた熱意・決意を感じさせる研修を実施することができました。

また、頻発する自然災害により、市民の防災に対する関心が高まるなか実施した「災害ボランティア・フォローアップ研修」では、熊本地震の際に設置した熊本市災害ボランティアセンターの組織についての講義やボランティアセンターの各班の役割について学ぶことで災害時に備えた体制づくりを視野に、研修を実施しました。

今年度は、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ2,506人に対し研修を実施することができました。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.2～9

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	139	5～7
ふくしのまちづくり講座	校区住民	7	3	21	747	9～3
計		8	—	26	886	—

(2) 地縁型ボランティアの育成

- ① 新任者
 - 新任福祉協力員等研修 詳細 No.10～17
- ② 現任者
 - 現任福祉協力員等研修 詳細 No.18～24
 - 地域福祉活動専門研修
- ③ 役員
 - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.25
 - 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.26
 - まちづくりゼミナール 詳細 No.27

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	362	6～9
現任者	現任福祉協力員等研修	現任福祉協力員等	7	1	7	374	10～1
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	135	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	188	2
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	95	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	5	5	63	8～12
計			19	—	23	1,217	—

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

① 入門者

- 傾聴ボランティア養成講座 詳細 No.28
- 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.29～31
- 私にもできる災害ボランティア入門講座 詳細 No.32

② 活動者

- 傾聴ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.33
- 送迎ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.34
- 災害ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.35

③ リーダー

- ボランティア・リーダー研修 詳細 No.36

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	3	3	65	8
	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者を希望する者	3	2	6	74	6～3
	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	24	8
活動者	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	26	5
	送迎ボランティア・フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	17	10
	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	28	9
リーダー	ボランティア・リーダー研修	リーダー 次期リーダー	1	1	1	29	12
計			9	—	14	263	—

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成

- 企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 詳細 No.37

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	102	2

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

○ ボランティア・コーディネーター研修

詳細 No.38

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
ボランティア・コーディネーター研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	1	2	2	38	11

(6) 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『きたきゅうしゅう市社協だより』掲載)	172,000部	平成28年5月1日・8月1日 11月1日・平成29年1月15日
事業報告書	350部	平成28年8月1日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成28年6月1日

3 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成24年度	9	27	794
平成25年度	8	26	1,097
平成26年度	8	26	1,078
平成27年度	8	26	998
平成28年度	8	26	886

(2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成24年度	28	32	1,631
平成25年度	27	31	1,729
平成26年度	19	23	1,754
平成27年度	19	23	1,953
平成28年度	19	23	1,217

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	8	15	239
平成 25 年度	10	17	352
平成 26 年度	9	14	305
平成 27 年度	9	14	306
平成 28 年度	9	14	263

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	3	3	230
平成 25 年度	4	4	134
平成 26 年度	1	1	18
平成 27 年度	1	1	30
平成 28 年度	1	1	102

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	2	3	61
平成 25 年度	2	3	92
平成 26 年度	1	2	47
平成 27 年度	1	1	32
平成 28 年度	1	2	38

(6) 延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 24 年度	50	80	2,955
平成 25 年度	51	81	3,404
平成 26 年度	38	66	3,202
平成 27 年度	38	65	3,319
平成 28 年度	38	66	2,506

— 平成 28 年度 —

まちづくりセミナー 実施要領

- 1 趣 旨** この講座は、子どもを取り巻く環境や子育ての現状について学ぶとともに、様々な支援活動を知り体験することで、子どもたちの為に「いま、私にできること」を一緒に探します。
- 2 実施主体** 各区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 5 月 28 日、6 月 4 日、6 月 18 日、6 月 25 日、7 月 2 日
すべて土曜日（全 5 回）（10:00～12:00）
※但し、6 月 25 日は、10:00～16:00
- 4 会 場** ウェルとばた 12 階 H・I 研修室他（戸畑区汐井町 1 番 6 号）
- 5 対 象 者** テーマに関心のある方 30 名（定員を超えた場合は抽選）
- 6 受 講 料** 700 円
- 7 タイトル** 「明日を託す子どもたちへ」～いま、私にできること～
- 8 研修内容**

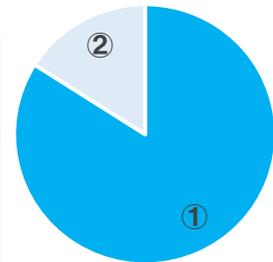
回 数	内 容	講 師 等
①	講 演 「子どものこと、子育てのこと」	北九州市保育所連盟 副会長 北九州市保育士会 会長 北 野 久 美
②	講 演 「保育所へようこそ！」	
③	活動発表 「さまざまな活動のかたち」	ボランティア活動者
④	体験活動	市内保育所（園）ほか
⑤	交 流 会 「明日から私ができること」	北九州市保育所連盟 副会長 北九州市保育士会 会長 北 野 久 美

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	37 人	34 人	139 人	60.7 才		5 日	14 時間
	5・32	91.9 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか と 言えない	どちらか と 言う と そうでない	全く そうでない
	25 件 73.5 %	満足 できたか?	21	4	0	0	0



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現在の子育てや保育所の現状を知ることができてよかった。 ■ 北野先生の子どもに対するあたたかく熱い思いが伝わってきた。本当に大切なことは何かを感じることができた。 ■ 体験活動は楽しく子どもたちと接することができてよかった。同時に、保育所の大変さや今かかえている課題等知ることができた。
------	---

■ 事業点検

点検・講評	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今回は、講義、活動発表、体験活動、交流会と様々な手法で行った。現場の声を聞けたり、話し合いをしたり、受講生が発言する時間もあり、おおむね好評を得られ、充実した研修会となった。
(今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 体験活動や交流会では、今後の活動につながるきっかけづくりができた。保育所で活動を続ける方もいて、新たな活動者が増えそうな兆しがみられた。

■ 研修風景

北野久美先生の講義		交流会（意見交換）	
活動発表		質疑応答	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・古城校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
古城校区では、講座を通して、参加者が、いろいろな活動に携わるひとたちとふれあい、話し合い、体験し、自分たちにできることを探ってもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 古城校区社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 北九州市立古城市民サブセンター（門司区浜町 6-25）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「地域を豊かに、暮らし穏やかに…ひとつなぎ」

7 研修日程・内容

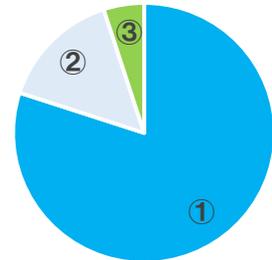
日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 14日 (水)	13:30	開 会・オリエンテーション	古城校区社会福祉協議会
	13:40 ～ 15:30	地域住民の相互交流・情報交換を考える ～お互いが笑顔になる癒しの コミュニケーションづくり～	阿波屋 代 表 阿波 孝 浩
二日目 1月 25日 (水)	13:30 ～ 15:30	サロン活動での レクリエーション技法を学ぶ ～地域も心もラッピング～	株式会社 泰文堂 主 任 筑 紫 総 子 廣 谷 敦 子
三日目 2月 22日 (水)	13:30 ～ 15:20	私たちの地域活動 ボランティア活動	浜町倶楽部(シャッターアート活動) 石塚 政章 古城めかり会(子ども会OB・PTAOB) 奥村 八十一 清掃ボランティア(清掃活動) 伊藤 多実恵 門司区社会福祉協議会 事務局長 小田 光江
	15:30	閉 会	古城校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	32 人	32 人	85 人	— 才		3 日	6 時間
	—・—	100 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	23 件 71.9 %	満足 できたか?	16	3	1	0	0



主な意見	■ はじめて知ることが多くためになった。もっと参加者が増えると良いと思った。
	■ 一人ひとりが地域のことを考えて取り組んでいくと、もっとよいまちづくりができると思った。
	■ 地域のために働いて下さる方に改めて感謝した。自分も小さいことでもボランティアができるよう努力したいと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 地域のボランティアについて、知らなかった参加者も多く、活動発表の時間は、校区の活動を知るきっかけになったのではないかと思います。まとめでは、ボランティアの高齢化が課題という内容では、参加者から、いろいろな提案があったり、発表者と意見交換したり、充実した研修となった。今後、校区の発展に期待できる。
--------------------	--

■ 研修風景

豊かなくらしの楽しみ方いろいろ		私たちの地域活動	
サロン活動でのレクリエーション技法		私たちのボランティア活動	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座(小倉北区・北小倉校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
北小倉校区では、災害をテーマに、地域に起こり得る災害に対して学んだり、活動者同士で避難訓練等を通して考え交流をはかったりして、地域の災害時のボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 北小倉校区・小倉北区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立北小倉市民センター（小倉北区中井 1-10-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全 3 回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「災害にも強いまち 北小倉校区
～子どもや高齢者の命を守るために真剣に地域防災を考えてみませんか?～」

7 研修日程・内容

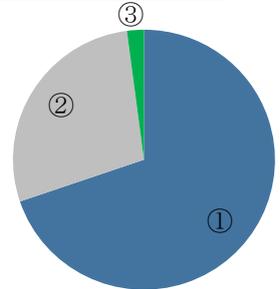
日 程		内 容	講 師 等
一日目	13:00 ～	開 会・オリエンテーション	北小倉校区社会福祉協議会
	12月 17日 (土)	13:10 ～ 15:00 講 義・グループワーク 「犠 牲 者 0 (ゼロ) のまちづくり」	北九州市危機管理室 主 査 入 門 真 生
二日目	10:00 ～ 11:00	避難訓練 「みんなで避難訓練をしよう！」	北小倉校区社会福祉協議会
	11:00 ～ 12:00	講話と地震体験 「地震を体験しよう！」	小倉北消防署 予防課
	12:00 ～ 13:00	非常食試食と炊き出し体験 「みんなで試食してみよう！」	北小倉校区社会福祉協議会
	13:00 ～ 14:00	グループワーク 「避難訓練に参加して！」	北九州市社会福祉協議会
	1月 14日 (土)	13:00 ～ 14:30 講 義・グループワーク 「命を守るための地域の取り組み！」	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
14:30 ～ 14:55	ま と め 「災害発生時の地域の支え合いについて」		
三日目	2月 4日 (土)	14:55 ～ 15:00 閉 会	北小倉校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	158 人	158 人	— 才		3 日	8 時間
	— 人	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	101 件	満足できたか?	67	27	2	0	0
	63.9 %						



主な意見	■ 家族と新たに避難について話し合う機会をもとうと思った。
	■ 講師の方の話し方もわかりやすくとても良かった。
	■ 日頃、体験できなかった事が体験できて良かった
	■ 災害の分類を聞いて対策等の考え方が非常にわかりやすく、台風災害、地震災害で、今出来る事からやって行こうと考えさせられた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ グループワークで他町内の方とも話が出来、共通理解が出来た。
	■ 災害について十分な理解を得、家族で防災について話す機会となった。
	■ 校区に起きる水害や地震に対する避難場所や対応の違いを理解した。
	■ グループワークで話し合う事で、自分の知らなかったことや他の人の考えを共有出来、好評であった。

■ 研修風景

坂口会長挨拶		地震体験車で地震体験	
講師の熱心な講義		グループワークで意見交換	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座(小倉南区・長尾校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
長尾校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 長尾校区社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** 北九州市立長尾市民センター（小倉南区長行西1丁目1-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全3回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「見守り、助け合い、話し合いのまち ながお」

7 研修日程・内容

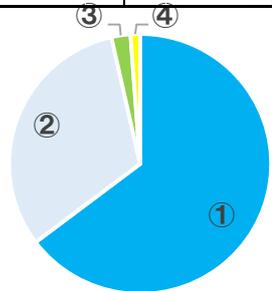
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 13日 (火)	19:00	開 会・オリエンテーション	長尾校区社会福祉協議会
	19:10 ～ 19:40	事業説明 「社協ってなあに？」	小倉南区社会福祉協議会
	19:40 ～ 20:45	意見交換会(校区の取り組みについて) 発表会(各班ごと)	
二日目 10月 11日 (火)	19:00 ～ 20:45	講 義 「世代を超えた 子育て・孫育て」 ～今の子育てって？ 先生に色々聞いてみませんか～	北方子育て支援センター 所長 大塚 友江
三日目 11月 8日 (火)	19:00 ～ 19:30	講 義 「地域で楽しくボランティア」	おとなりさんネットワーク「えん」 代表 田代 久美枝
	19:30 ～ 20:40	校区の活動紹介 交流会	
	20:45	閉 会	長尾校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	48人	48人	142人	—才		3日	5時間
	—	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	111件 78.2%	満足できたか?	110	54	4	2	0



主な意見	■ 小地域福祉活動についてや社協の内容が理解できた。
	■ 意見交換では、普段聞けない方々からのいろいろな意見を聞いてよかった。
	■ 地域の皆さんで、子育てについて話し合いできてよかった。また子育ての現状について、先生のお話が聞きたい。
	■ 高齢者の活躍する地域を支え、巻き込み、高齢者が元気で頑張ろうと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 意見交換会は、各班活発に行われた。いろいろな意見が聞いてよかったと好評だった。
	■ 班ごとの配席だったが、研修中の交流時間が短かったので、もっと話をしたかったという声が多かった。時間配分に配慮が足りなかった。
	■ 地域の方々と交流でき、いろんな活動を知ることができたと好評だった。

■ 研修風景

事業説明 社協ってなあに？		講義 世代を超えた子育て・孫育て	
意見交換会		地域で楽しくボランティア	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座(若松区・江川校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
江川校区では、地域でいきいき 安心して暮らせるまちづくりをテーマに、地域で健康いきいきと生活してゆく方法を学んだり、人付き合いの正しい方法やサロン活動で役立つレクリエーションを学ぶことで、地域で安心して暮らせるまちづくりを図り、新たにサロン活動等のボランティア獲得を目指します。
- 2 実施主体** 江川校区・若松区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 大鳥居公民館・岩屋漁村センター・有毛公民館
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全3回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「地域でいきいき 安心して暮らせるまちづくり」
- 7 研修日程・内容**

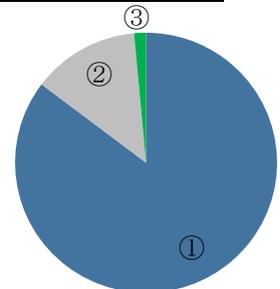
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 21日 (火)	10:00 ～	開 会・オリエンテーション	江川校区社会福祉協議会
	10:10 ～ 11:40	講 義 「人生 100 年時代 健康寿命を延ばそう」	北九州生涯学習講師、メンタルケアアドバイザー 赤松 文雄
	～ 11:45	まとめ	江川校区社会福祉協議会
二日目 3月 10日 (金)	10:00 ～	オリエンテーション	江川校区社会福祉協議会
	10:10 ～ 11:40	講 義 「人付き合いを忘れず」、 「楽せず」、「笑って暮らす」 ～健康寿命への挑戦～	月刊生涯教育通信「風の便り」 編集長 三浦 清一郎
	～ 11:45	まとめ	江川校区社会福祉協議会
三日目 3月 17日 (金)	10:00 ～	オリエンテーション	江川校区社会福祉協議会
	10:10 ～ 11:40	講 義・実 技 「楽しく体操 サロンで役立つレクリエーション」	元社会教育主事 半田 百合枝
	～ 11:45	閉 会・まとめ	江川校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	27 人	27 人	71 人	— 才		3 日	5 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	70 件 98.6 %		58	9	1	0	0



主な意見	■ 健康に生きていくための、笑いの大切さが良く解った。
	■ 楽な暮らしをしてはダメ。「負荷」を掛けるのが良く「隠居」はダメ。「察する」こと等聞いて気が付きました。健康寿命を延したいと思った。
	■ 是非、サロンやグループで実践して行きたいと思った。
	■ 今後の健康づくりに役立てて行きたいと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修会で、健康寿命の大切さと平均寿命の差をいかに縮めるには、負荷をあたえつつ、笑って健康づくりに励むことの大切さを感じてもらった。
	■ 講義の楽しさ、みんなとのふれあいコミュニケーションの大切さも知ってもらえた。
	■ サロンで、役立つ研修会を実施する事が出来た。

■ 研修風景

吉住会長挨拶		人付き合いが肝心	
笑いの必要性について		体を動かし健康に	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・前田第四地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
前田第四地区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 前田第四地区・八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立平野市民センター（八幡東区桃園 4-1-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全3回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「思いやりと見守りで明るい前田第四地区」
- 7 研修日程・内容**

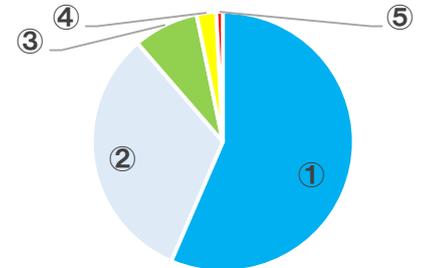
日 程	内 容	講 師 等	
一日目 10月 3日 (月)	18:00 ～	開 会・オリエンテーション	前田第四地区社会福祉協議会
	18:10 ～ 19:00	「認知症を理解し予防しよう」	たつのおとしごクリニック 院 長 小 野 隆 生
	19:00 ～ 20:00	「意見交換会」 ～地域での支え合いを考えてみよう～	ファシリテーター キャラバンメイト 田代 久美枝
二日目 11月 7日 (月)	13:30 ～ 14:20	「これからの介護保険について」	八幡東区役所 保健福祉課 介護保険担当係長 阿 部 彰 治
	～	(会 場 設 営)	
	14:35 ～ 15:30	「地域づくりは健康から」 ～ペタンクをやってみよう～	穴生ドーム スポーツ指導員 深 川 美 和
三日目 2月 6日 (月)	13:30 ～ 15:00	「人づきあい・笑って健康」 ～笑いで地域をつなげよう～	北九州生涯学習講師・メンタルケアアドバイザー 赤 松 文 雄
	15:00 ～ 15:25	「社会福祉協議会ってなあに？」	八幡東区社会福祉協議会
	～ 15:30	閉 会	前田第四地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	58人 —・—	58人 100%	171人	—才		3	6時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	79件 46.2%	満足できたか?	70	40	10	3	1



主な意見	■ 認知症の専門的な内容がわかりやすい説明でより深く意識が高まった。
	■ 子どもたち世代に話を聞いてもらい、認知症になる過程を理解してもらいたい。
	■ ペタンクは高齢者のスポーツに最適で、前田地区で広めたい。
	■ 生活の中で笑いがいかに大切か再認識した。
	■ 人と人とのつながりがどんなに必要かと感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講師の話術によって、専門的な認知症の話もわかりやすく受講生に伝わった。
	■ ニュースポーツによって地域交流ができ、今後の活動に繋がるきっかけになったと思われる。
	■ 人間関係を構築する秘訣を楽しく学び、地域が繋がる活動のきっかけになったと思われる。

■ 研修風景

認知症を理解し予防しよう		地域づくりは健康から	
人つきあい・笑って健康		社会福祉協議会ってなあに？	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座（八幡西区・筒井校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
筒井校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 筒井校区・八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立筒井市民センター（八幡西区山寺町 6-30）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「わたしにもあなたにもやさしいまち つつい」
- 7 研修日程・内容**

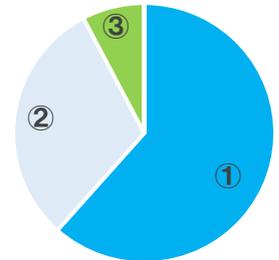
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 25日 (金)	14:00 ～	開 会・オリエンテーション	筒井校区社会福祉協議会 会 長 庄 崎 一 丈
	14:10 ～ 14:35	講 義 「サロン活動ってなに？」	八幡西区社会福祉協議会 主 事 前 田 純 志
	14:35 ～ 16:00	グループワーク 「わたしたちの 筒井ってどんなところ？」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター研修課 職 員 高 取 幸 恵
二日目 1月 20日 (金)	14:00 ～ 14:35	事例紹介 「こんなサロンあります！」	八幡西区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター 松 永 富 士 雄 陣 内 真 由 美
	14:35 ～ 16:00	グループワーク 「こんなサロンあったらいいな♪ 夢サロンを語ろう」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター研修課 職 員 高 取 幸 恵
三日目 2月 24日 (金)	14:00 ～ 15:55	講 義・ま と め 「つくろう！つついの夢の居場所 『サロン』」	月刊生涯学習通信「風の便り」 編集長 三 浦 清 一 郎
	～ 16:00	閉 会	筒井校区社会福祉協議会 副会長 山 名 由 貢

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29人	18人	57人	—才		3日	6時間
	—・—	62.1%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	46件 80.7%	満足できたか?	24	12	3	0	0



主な意見	■ サロン活動についてのお話を聞き、本当に良くわかりました。
	■ グループでの話し合いは気づかされた点があり有意義だった。
	■ みんなが意見を出し、サロンが出来そうな気がしてきた。
	■ サロン立ち上げは、地域性があり困難を伴うが、まずは1か所から始めたい。
	■ 三浦先生の講話は、わかり易く納得でき、実行したい事がたくさんあった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ サロン活動についての講義は、参加者が熱心に受講していた。
	■ グループワークについて、参加者が活発に意見交換していた。単なる意見交換で終わらないようにグループワークの運営技法の習得が必要と思われる。
	■ ユーモアを交え参加者に訴えかける講話によって、参加者自身の理解が深まり、サロンの具体的な計画を検討できたことが好評であった。

■ 研修風景

<p>サロン活動ってなに？</p>		<p>わたしたちの筒井ってどこどころ？</p>	
<p>こんなサロンあります！</p>		<p>受講生に訴えかける三浦先生</p>	

— 平成 28 年度 —

ふくしのまちづくり講座(戸畑区・西戸畑地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
西戸畑校区では、後期高齢者が増加する「2025年問題」も見据え、福祉マップ等を活用し、見守り対象世帯の把握や、より良い見守り活動について話し合うことで、見守り活動の更なる充実を図るとともに、新たな活動者の発掘を目指します。
- 2 実施主体** 西戸畑地区社会福祉協議会・戸畑区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 29 年 1 月 11 日、2 月 8 日、3 月 8 日
すべて水曜日 (全 3 回)
- 3 会 場** 北九州市立西戸畑市民センター (戸畑区南鳥旗町 3-17)
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方 (全 3 回参加できる方)
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなでみまもる安心して暮らせる西戸畑！」
～見守り活動の構築～

7 研修日程・内容

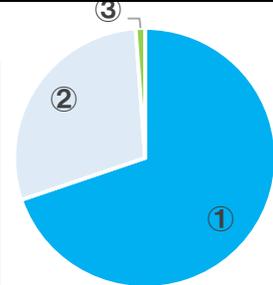
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1 月 11 日 (水)	13:30	開 会・オリエンテーション	西戸畑地区社会福祉協議会
	13:40 ～ 15:30	講 義 「どんと来い 2025 年！安心できる福祉のまちづくり」 話し合い 見守りが必要な人とは…？	戸畑区社会福祉協議会
二日目 2 月 8 日 (水)	13:00 ～ 15:00	話し合い 「わたしたちのご近所の要支援者と福祉協力員の発掘」	戸畑区社会福祉協議会
三日目 3 月 8 日 (水)	13:00 ～ 14:55	話し合い 見守りが必要な人とは…？ 説明・作業 基本台帳・見守り対象者名簿を作成しよう！ まとめ まとめに変えて、今後の活動について	戸畑区社会福祉協議会
	15:00	閉 会	西戸畑地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	22 人	21 人	63 人	— 才		3 日	6 時間
	5・17	95.5 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と その通り	どちらか とも 言えない	どちらか と 言う と そうでない	全く そうでない
	48 件	満足 できたか?	60	25	1	0	0
	76.2 %						



主な意見	■ マンションでは、他の階の情報がないことが問題である。
	■ 福祉協力員と民生委員との結びつきが深まって、相互連絡しやすくなった。
	■ 話し合いで、他の人の情報を聞いて、地域の状況がよくわかった。マップ作りができて、今後動きやすい地盤づくりができたかなと思った。
	■ 訪問台帳はとても有効だ。見守りがしっかりできそうだ。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 研修の3回だけでなく、その間の訪問活動で、見守り対象者を把握したり、福祉協力員の増加に向けた活動を行ったりした。情報が増え、マップ作りが円滑にでき、また声かけで、9名の新任福祉協力員が加わり、その内8名が3回目の研修に参加した。西戸畑地区の今後の発展に期待できる。
--------------------	--

■ 研修風景

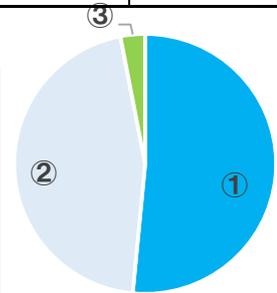
ふれあいネットワーク活動について		福祉協力員の役割分担(ロールプレイング)	
見守り対象者の把握		今後の活動について	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	40 人	36 人	36 人	— 才		1 日	2 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	33 件	満足 できたか?	17	15	1	0	0
	91.7 %						



主な意見	■ 初めての福祉協力員ですが、今回のお話を聞いて、大変よくわかった。地域のみなさんと一緒になって頑張っていきたい。
	■ 手助けと多くの人とのつながりを大切にする事。「つながりの質」が大切だと思った。
	■ 研修に参加して、自分の役割がよくわかった。講義を参考に活動したい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修で、新任福祉協力員としての役割がよく理解でき、それぞれ活動への意識が高まった。
	■ 質疑応答では、1つの質問に対し、別の受講生がそれぞれ自分の校区の事例を発表したり、有意義な時間となった。

■ 研修風景

宮原会長の開講挨拶		事業説明	
山崎校長の講話		人間関係のつながりの面白さ	

— 平成 28 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、各校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 小倉北区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任及び新任研修未受講の福祉協力員など
- 4 研修会場** 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナー室
(小倉北区大手町 11 番 4 号 TEL:583-3939)
- 5 実施日時** 平成 28 年 9 月 28 日 (水) 13:30~15:30
- 6 研修内容**

時 間	内 容	講 師 等
13:00	受 付	
13:30 ~ 13:35	開 会・オリエンテーション	小倉北区社会福祉協議会
13:35 ~ 13:40	地域福祉権利擁護事業について	北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター 主 事 佐々木 郁
13:40 ~ 13:55	みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり ~ふれあいネットワーク活動の基本は「見守り」から~	小倉北区社会福祉協議会 事務局長 小池 昭
— 休 憩 —		
14:00 ~ 15:25	グループワーク「地域でつくる福祉力」	小倉北区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター 渡邊 大
15:25 ~ 15:30	閉 会	小倉北区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29人	26人	26人	—才		1日	2時間
	—	89.7%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	26件	満足できたか?	12	11	1	1	0
	100%						



主な意見	■ 他校区の人達とのふれあい交流が出来た。
	■ 機会があれば、また参加したい。(連絡して欲しい。)
	■ 無理をしないで、出来る事から始めたい。
	■ 家庭内で、認知症の者を介護しているものにもっと知らせて欲しい。
	■ 全体的に時間が足りなかったようだった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 基本台帳や福祉マップ等についてもっと詳しく説明する必要がある。
	■ 研修時間を十分に取って、時間に余裕のある研修にする。
	■ 今回のグループワークで、他校区の方とも交流が出来て良かった。
	■ 参加者の得意、不得意を自覚し、他者と協力する事を学んでもらえた。
	■ グループワークで、コミュニケーションの楽しさを感じ取ってもらえた。

■ 研修風景

オリエンテーション		権利擁護事業ってなに？	
福祉協力員の活動とは？		各グループで情報交換	

— 平成 28 年度 —

新任福祉協力員・ニーズ対応員研修会 実施要領

- 1 趣 旨** 小倉南区社会福祉協議会は、住民の自主組織である校(地)区社会福祉協議会と一緒に、だれもが住み慣れた地域で安心して生活できるように、「ふれあいネットワーク活動推進事業」を中心とした福祉のまちづくりをすすめています。
この研修会は、校(地)区社会福祉協議会の基盤活動である「ふれあいネットワーク活動推進事業」において中心的役割を担う福祉協力員やニーズ対応員の新任の方々を対象に、活動に必要な基礎知識や技法を習得していただくものです。
- 2 実施主体** 小倉南区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 6 月 4 日（土） 13:00～15:40
- 4 会 場** 北九州市立若園市民センター（小倉南区若園 4-1-50）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員・ニーズ対応員
- 6 研修内容**

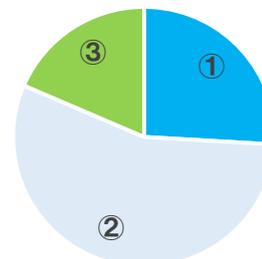
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:10	開 会・オリエンテーション	小倉南区社会福祉協議会
13:10 ～13:40	演 劇 「母の愛・息子の愛・地域の絆 ～ニセ電話詐欺にご用心～」	ふくし劇団「こくら南プチボ」
13:45 ～14:40	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動について」	小倉南区社会福祉協議会
14:50 ～15:00	事業説明 「健康マイレージについて」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
15:00 ～15:30	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク について」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
15:30 ～15:40	質疑応答	小倉南区社会福祉協議会
～15:40	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	58 人	58 人	58 人	— 才		1 日	3 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	56 件	満足 できたか?	14	30	10	0	0
	96.6 %						



主な意見	■ 地域の交流、民生委員と福祉協力員の方々の協力がいかに大切かわかった。
	■ 地域と連携すること。自分のできる範囲で活動していきたい。
	■ 見守りのしくみ、対象者の把握、アプローチの仕方、気づきのサイン等よくわかった。緊急時の対応も学べてよかった。
	■ 見守り・助け合い・話し合い。協力して住みよいまちに。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 演劇でわかりやすかったと好評だった。それぞれの役割が理解できたようだ。
	■ 受講したことによって、活動の内容を理解し、今後の活動について考える機会となったようだ。それぞれが意識をもって活動することにつながったと思う。

■ 研修風景

築別会長開講挨拶		ふくし劇団こくら南プチボ	
ふれあいネットワーク説明		いのちをつなぐネットワーク	

— 平成 28 年度 —

新任福祉協力員・ニーズ対応員研修会 実施要領

- 1 趣 旨** 小倉南区社会福祉協議会は、住民の自主組織である校(地)区社会福祉協議会と一緒に、だれもが住み慣れた地域で安心して生活できるように、「ふれあいネットワーク活動推進事業」を中心とした福祉のまちづくりをすすめています。
この研修会は、校(地)区社会福祉協議会の基盤活動である「ふれあいネットワーク活動推進事業」において中心的役割を担う福祉協力員やニーズ対応員の新任の方々を対象に、活動に必要な基礎知識や技法を習得していただくものです。
- 2 実施主体** 小倉南区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 6 月 25 日（土）13:00～15:40
- 4 会 場** 北九州市立曾根市民センター（小倉南区中曾根三丁目 9-7）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員・ニーズ対応員
- 6 研修内容**

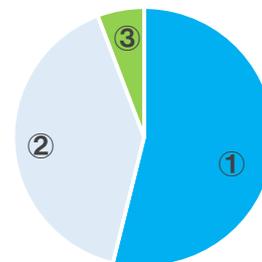
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:10	開 会・オリエンテーション	小倉南区社会福祉協議会
13:10 ～13:40	演 劇 「母の愛・息子の愛・地域の絆 ～ニセ電話詐欺にご用心～」	ふくし劇団「こくら南プチボ」
13:45 ～14:40	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動について」	小倉南区社会福祉協議会
14:50 ～15:00	事業説明 「健康マイレージについて」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
15:00 ～15:30	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク について」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
15:30 ～15:40	質疑応答	小倉南区社会福祉協議会
～15:40	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	54 人	54 人	54 人	— 才		1 日	3 時間
	8・46	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	53 件	満足 できたか?	28	21	3	0	0
	98.1%						



主な意見	■ 演劇を通して、地域における役割が理解できた。
	■ 見守り・助け合い・話し合い。自分でできる活動をしたと思った。
	■ 見守る、見つける、つなげるの3つのキーワードで孤立死や孤独死がないように困難ではあるが、活動をやっていきたい。
	■ 高齢化率の高い北九州市では、大切な役割だと感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ いのちネットや社協の事業説明は、事例や実際のケース紹介もあり、具体的に分かりやすかったと好評だった。
	■ 受講したことにより、今後の活動への意欲が高まったようだ。

■ 研修風景

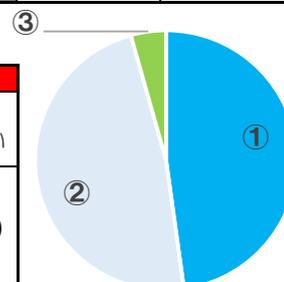
ふくし劇団こくら南フチボ		ふれあいネットワーク説明	
健康マイレージ事業		いのちをつなぐネットワーク	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	31 人	27 人	27 人	— 才		1 日	2 時間
	7・24	87.1 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	23 件	満足 できたか?	11	11	1	0	0
	85.2 %						



主な意見	■ 研修に参加出来て、今から地域で何をする役目なのかよくわかった。
	■ 福祉協力員の役割が良くわかった。
	■ ボランティアと考えず、自分の負担にならないようやりたい。
	■ わかりやすいお話で、自分のやれることを最善でやる。気持ちが軽くなった

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 校区社協の7つの機能・役割、ネットワークの3つのしくみを理解頂けた。
	■ 社協・ボランティア等の話を聞き、頑張りすぎない事を学んでもらえた。
	■ 固定観念にとらわれず、自分に何が出来るか、考える機会となった。
	■ 地域福祉もボランティアも神経質にならずに自分の健康を大切にし、出来る事からすれば良い事を感じてもらえた。

■ 研修風景

添田重幸会長開会挨拶		ふれあいネットワークとは何？	
健康マイレージ事業で脳トレ		永渕先生の話真剣に聴き入る	

— 平成 28 年度 —

新任福祉協力員等合同研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、各校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 八幡東区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 6 月 25 日（土）13:30～15:40
- 4 会 場** レインボープラザ 7階 71 会議室（八幡東区中央 1 丁目 1 - 1）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員など

6 研修内容

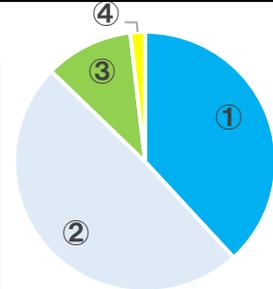
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	八幡区社会福祉協議会 会長 半田 康行
13:35～	オリエンテーション	八幡東区社会福祉協議会
13:40 ～14:10	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動推進事業」	八幡東区社会福祉協議会
14:10 ～14:40	行政施策説明 「ふれあいネットワーク活動の 支援について」	八幡東区保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長 菅野 啓一
14:40 ～14:45	健康づくりは地域から（健康マイレージ紹介）	北九州市社会福祉協議会
14:45 ～14:55	休 憩	
14:55 ～15:35	実践活動発表 「先輩に学ぶ」 ふれあいネットワーク活動を通じて “手をつなげば明日が見えてくる”	前 八幡東区地区社会福祉協議会会長 委員長 芳賀 茂木
～15:40	閉 会	八幡東区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	62 人	62 人	62 人	— 才		1 日	2 時間
	—・—	100 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	55 件	満足 できたか?	21	27	6	1	0
	88.7 %						



主な意見	■ 苦勞して汗を流さないと活動内容が向上しないということがよく理解できた。
	■ 民間や行政が福祉の啓発や研修に力を入れていることを知り、心強く感じる。
	■ 各課題について具体的な考察を知りたい。
	■ 話の内容に具体性を欠く、あまりに漠然としていて細部がよくわからない。
	■ 自分がどれだけ出来るか、やりたい気持ちと不安の気持ちがある。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講生の学ぶ意欲が高く、その期待に応えられる研修内容としたい。
	■ ユーモア等を伴う講師選定・プログラム構成は重要である。
	■ 健康マイレージ等の行政施策で地域づくりができることを学んだ。
	■ 具体的事例を取り上げた実践発表は、研修効果が高まる。
	■ 具体性ある講話内容等、講師陣等との事前協議を十分に行いたい。

■ 研修風景

半田会長の開講挨拶		地域福祉施策を学ぶ	
実践発表に聴き入る受講生		健康づくりは活動者から！	

— 平成 28 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、各校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 八幡西区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 7 月 9 日（土） 13:00～15:35
- 4 会 場** 北九州市立子どもの館 子どもホール
（八幡西区黒崎三丁目 15-3 コムシティ 7 階）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員など

6 研修内容

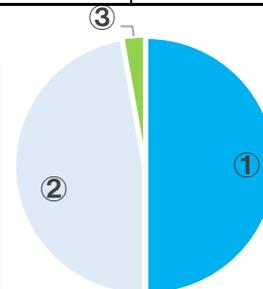
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	八幡西区社会福祉協議会 会長 奥尾 一雄
13:05～	オリエンテーション	八幡西区社会福祉協議会
13:10 ～13:50	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動推進事業」	八幡西区社会福祉協議会 職員 力久 祐理子
13:50 ～14:20	「健康マイレージ事業のご紹介」と 「座ったままできるストレッチ」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 生活福祉課
14:20 ～14:30	休 憩	
14:30 ～15:30	「福祉協力員としての心構え」	八幡西区社会福祉協議会 副会長 太田 康子
～15:35	閉 会	八幡西区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	82 人	76 人	76 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	92.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と その通り	どちらか も 言えない	どちらか と 言う と そうでない	全く そうでない
	73 件	満足 できたか?	36	34	2	0	0
	96.1 %						



主な意見	■ ボランティア活動を通して、障害者を含めた人とのつながりは大切だ。
	■ 動画や音楽に合わせてのストレッチは楽しい。
	■ 福祉協力員としてどうあるべきかわかりやすく聞く事が出来た。
	■ 社会福祉協議会の位置付けがわかった。
	■ 自分だけでなく他地区も同じ課題を抱えていることがわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講生は学ぶ意欲が高く、その期待に応えられる研修内容としたい。
	■ 自己紹介カード等ツールの使用により、コミュニケーション力が高まる。
	■ 動画による健康体操の実践は、研修会場を一体化させることを学んだ。
	■ 具体的事例を取り上げた実践発表は、研修効果が高まる。

■ 研修風景

奥尾会長の開講挨拶		社協活動を学ぶ	
健康づくりは活動者から！		自己紹介で仲間づくり！	

— 平成 28 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、各校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 戸畑区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 8 月 31 日（水） 13:30～16:00
- 4 会 場** 戸畑区役所 3 階 大会議室 （戸畑区千防 1 丁目 1-1）
- 5 対 象 者** 新任及び新任研修未受講の福祉協力員など
- 6 研修内容**

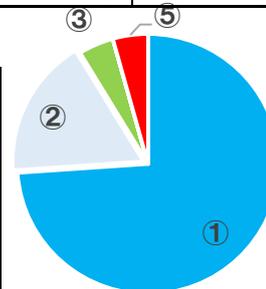
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30 ～13:40	開 会・オリエンテーション	戸畑区社会福祉協議会
13:40 ～14:20	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動推進事業」	戸畑区社会福祉協議会
14:20 ～14:30	休 憩	
14:30 ～14:40	事業説明 「健康づくりで地域福祉活動！」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部生活福祉課
14:40 ～15:00	事業説明 ①いのちをつなぐネットワーク ②ボランティア市民活動センター	戸畑区役所 いのちをつなぐネットワーク係 戸畑区社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
15:00 ～15:50	グループワーク 「先輩に学ぼう！ 福祉協力員の活動」	福祉協力員
～16:00	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	31 人	23 人	23 人	— 才		1 日	3 時間
	7・24	74.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	無回答
	23 件	満足 できたか?	17	4	1	0	1
	100 %						



主な意見	■ 福祉協力員の役割をあらためて勉強できた。今後の見守り活動に役立てたいと思った。
	■ 訪問の仕方や具体的な活動などの体験を基に、先輩協力員の方に話して頂いて、勉強になった。また他地区の方のお話も聞いて、参考になった。
	■ いろいろ学べたよい研修だった。肩をはらず、できることからやろうと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ グループワークでは、先輩福祉協力員の話が参考になったと好評だった。また、参加者同士の交流も深まった。
	■ 初めてのことで、戸惑う新任福祉協力員が多かったが、研修を受けたことで、気持ちを少し軽くすることができたのではないかと思った。また、これからの活動の心構えができたようだ。

■ 研修風景

草木会長の開講挨拶		事業説明	
いのちをつなぐネットワーク		先輩に学ぶ！グループワーク	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの 3 つの仕組みを活かし、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 門司区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 10 月 19 日（水） 10:00～12:00
- 4 会 場** 門司生涯学習センター3階 第 1・2 会議室（門司区栄町 3-7）
- 5 対 象 者** 門司区内の福祉協力員等
- 6 研修内容**

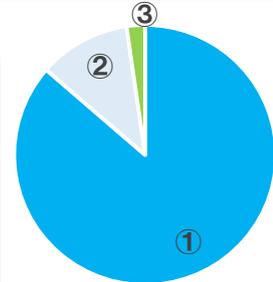
時 間	内 容	講 師 等
9:30～	受 付	
10:00 ～10:05	開 会	門司区社会福祉協議会 会 長 宮原 深海
10:05 ～10:10	オリエンテーション	門司区社会福祉協議会
10:10 ～11:55	講 義・意見交換 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中村 秀一
～12:00	閉 会	門司区社会福祉協議会 事務局長 小田 光江

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	47人	46人	46人	—才		1日	2時間
	13・34	97.9%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	46件	満足できたか?	38	5	1	0	0
	100%						



主な意見	■ 共助の重要性、大切さがわかった。私も心を育てていく地域をつくる努力をしていきたい。
	■ 相対的幸せが失われた時、支え、励ますことが地域福祉の役割だと思った。
	■ 「心こそ大切なり」の人として、信頼してもらえるよう支援していく。
	■ 今日の話地域を持ち帰って、協力員に伝え、支援に役立てていこうと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は大変好評であった。講義と意見交換を時間配分せず行ったので、若干講義の比重が大きかった気がする。意見交換では、講師の意向で、校区が重ならないよう班分けをし、他校区との違いを実感できたことはよかったと思う。

■ 研修風景

開会		地域における関係機関・団体との連携 協働について②	
地域における関係機関・団体との連携 協働について①		意見交換	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みを活かし、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り入れられ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 小倉北区社会福祉協議会、北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 受講対象** 小倉北区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立男女共同参画センタームーブ 5階 大セミナールーム
 （小倉北区大手町 11-4）
- 5 研修日時** 平成 28 年 11 月 30 日（水） 13:30～15:30
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

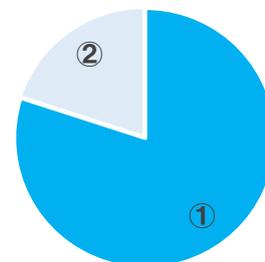
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30 ～ 13:35	開 会・オリエンテーション	小倉北区社会福祉協議会
13:35 ～ 15:25	講 義・グループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 教授 中村 秀一
～15:30	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	31 人	31 人	31 人	— 才		1 日	2 時間
	—・—	100 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	28 件	満足 できたか?	20	5	0	0	0
	90.3 %						



主な意見	■ 福祉協力員は地域のために活動するのではなく、自分を磨く為と認識した。
	■ とても分かりやすかった。ユーモアも交えて、福祉教育の大切さをあらためて認識。地域で人間を創るという話には、共感したが、一人では出来ない。同士の集めることの難しさ、講師の熱のある講義、何度聴いても良い。
	■ とてもすばらしい講義だった。又、この様な講義があれば、参加したい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ とてもわかりやすく、ユーモアも交えて、福祉教育の大切さをあらためて認識してもらえた。
	■ 地域で支え合う大切さ、人と人の関係を上手につなぎ、自分自身を認め、自分の出来る事をする。相手に対して尊敬しながら、一緒にやっていく事を理解してもらった。

■ 研修風景

事務局長の開会挨拶		熱心な中村先生	
他事業説明		講義に引き込まれる研修生	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの 3 つの仕組みを活かし、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組んでおり、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 小倉南区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 事業協力** 志井校区社会福祉協議会・長尾校区社会福祉協議会
- 4 研修日程** 平成 29 年 1 月 28 日（土）13:00～16:00
- 5 会 場** 小倉南生涯学習センター3階 視聴覚室（小倉南区若園 5-1-5）
- 6 対 象 者** 小倉南区内の現任福祉協力員等
- 7 研修内容**

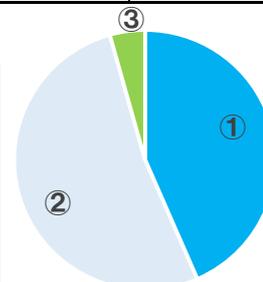
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:05	開 会	小倉南区社会福祉協議会 会 長 築別 邦博
13:05 ～13:10	オリエンテーション	小倉南区社会福祉協議会
13:10 ～14:20	講 義 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	福岡県立大学 准教授 村山 浩一郎
14:30 ～14:35	健康マイレージ事業 「肩こり防止体操」	小倉南区社会福祉協議会
14:35 ～15:55	意見交換 「グループワークとまとめ」	福岡県立大学 准教授 村山 浩一郎
～16:00	閉 会	小倉南区社会福祉協議会 事務局長 崎田 一彦

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	63 人	60 人	60 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	95.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそのでない	全く そうでない
	47 件	満足 できたか?	20	24	2	0	0
	78.3 %						



主な意見	■ 民生委員、福祉協力員のそれぞれの役割を知るよい機会になった。また、知りたかった内容の話聞いて、活動のヒントになった。
	■ 各地域の活動状況を聞いてよかった。工夫して活動が行われていると感じた。
	■ いろいろな情報（福祉協力員の仕事や各校区の様子）を知ることができた。
	■ 受講して、今後は自覚を持って責任ある態度で頑張っていきたいと感じた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義、グループワーク、質疑応答等と密なプログラム構成だったが、研修時間が、3時間ということもあり、充実した内容となった。
	グループワークでは、民生委員と福祉協力員の連携についての話が中心となり、アンケートより、情報共有ができてよかった、他校区の活動が参考になると好評だった。今後もそういう場を設けたいと思う。

■ 研修風景

開会		地域における関係機関・団体との連携協働について②	
地域における関係機関・団体との連携協働について①		質疑応答	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
この「ふれあいネットワーク活動」の見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みは、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどに活かされ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 若松区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 若松区内の福祉協力員
- 4 研修会場** 若松区役所・3階・特別会議室（若松区浜町一丁目1-1）
- 5 研修日時** 平成28年11月15日（火）14:00～15:50
- 6 参加費** 無料
- 7 研修内容**

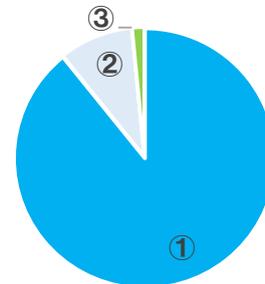
時 間	内 容	講 師 等
13:30～	受 付	
14:00～	開 会	若松区社会福祉協議会 会長 添 田 重 幸
14:05～	オリエンテーション	若松区社会福祉協議会
14:10 ～15:45	講 義・グループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 教授 中 村 秀 一
～15:50	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	66 人	80 人	80 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	121.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	69 件	満足 できたか?	58	6	1	0	0
	86.3 %						



主な意見	■ 頑張れる力をもらった。福祉協力員の活動がうまく出来る気がした。
	■ 今回の研修は、また違った講義で、良かった。
	■ 楽しい講義を聞き、時間を忘れる程、勉強になった。
	■ 今日のような有意義な講義を時々やっていただきたい。
	■ 楽しいお話だった。機会があれば、又、お話を聞きたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例を多く取り入れ、ユーモアも交え、研修生には好評であった。
	■ 意見交換で、他校区の方とのふれあいがあり、話し合いが盛り上がっていた。
	■ 講師の話術に引き込まれ、講義時間が短く感じられて、もっと聞きたかったとの意見が多かった。
	■ 対人支援の大切さ、重要性を感じてもらえた。

■ 研修風景

添田会長の開講挨拶		熱心に意見交換	
ユーモアを交えての講話		会場を埋め尽くす研修生	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員等合同研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの 3 つの仕組みを活かし、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 八幡東区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 11 月 26 日（土）13:30～15:45
- 4 会 場** レインボープラザ 7 階 71 会議室（八幡東区中央二丁目 1-1）
- 5 対 象 者** 八幡東区内の福祉協力員・民生委員・児童委員等
- 6 受 講 料** 無料
- 7 研修内容**

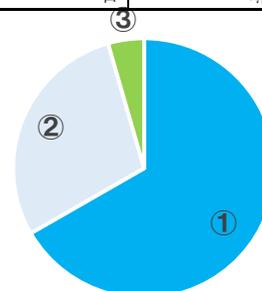
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	八幡東区社会福祉協議会 会長 半田 康行
13:35～	オリエンテーション	八幡東区社会福祉協議会
13:40～	事業紹介 ①地域支援コーディネーター ②ボランティア・市民活動センター	八幡東区社会福祉協議会
13:50 ～15:40	講 義・意見交換 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～15:45	閉 会	八幡東区社会福祉協議会 事務局長 中江 辰生

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	53 人	53 人	53 人	— 才		1 日	2 時間
	—・—	100 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそのでない	全く そのでない
	48 件	満足 できたか?	30	13	2	0	0
	90.6 %						



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 非常に具体的な例を挙げて説明していただけたことが良かった。 人間の素晴らしさ、人を信じることの大切さを若者に教えてほしいという言葉が胸にしみた。 義務ではなく心からの支援、助け合いをしていこうという気持ちになった。 地域との密なる会話をする。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> 講師のたくみな話術で、受講生を話の中に引きこみ、最初から最後まで充実した内容であった。 講義は具体例などを織り交ぜながらの内容で充実しており、好評であった。 グループで出た意見などを取り上げながら進行しており、話し合いが盛り上がった。
--------------------	---

■ 研修風景

半田会長の挨拶		事業紹介	
意見交換		地域における関係機関・団体との連携	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 この見守り・助け合い・話し合いの 3 つの仕組みを活かし、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り込まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。

2 実施主体 八幡西区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市

3 研修日程 平成 28 年 12 月 16 日（金） 13:30～16:00

4 会 場 八幡西生涯学習総合センター大会議室（八幡西区黒崎三丁目 15-3）

5 対 象 者 八幡西区内の福祉協力員等

6 受 講 料 無料

7 研修内容

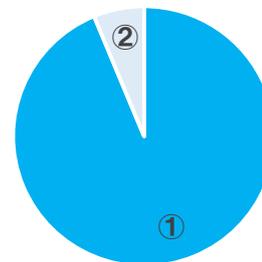
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会	八幡西区社会福祉協議会
13:35～	オリエンテーション	
13:40 ～15:55	講 義・意見交換 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～16:00	閉 会	八幡西区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	59 人	55 人	55 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	93.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとその通りでない	全く その通りでない
	48 件	満足 できたか?	45	3	0	0	0
	87.3 %						



主な意見	■ 福祉協力員として何が出来るか考えるきっかけになった。
	■ 福祉の本当の意味がよくわかった。今後役立てたいと思う。
	■ 対人支援は心が一番大切だと学んだ。
	■ 人とのつながりの大切さを基本として心して活動していきたい。
	■ 他校区との話し合いが出来、大変有意義だった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講師のたくみな話術で受講生を、話の中に引きこみ最初から最後まで充実した内容であった。
	■ 講義は具体例などを織り交ぜながらの内容で充実しており、好評であった。
	■ グループで出た意見などを取り上げながら進行しており、話し合いが盛り上がった。

■ 研修風景

地域における関係機関・団体との連携		意見交換①	
意見交換②		講義に聴き入る受講生	

— 平成 28 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの 3 つの仕組みを活かし、サロン活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組まれ、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 戸畑区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 10 月 4 日（火） 14:00～16:00
- 4 会 場** 戸畑区役所 3 階 大会議室（戸畑区千防 1 丁目 1-1）
- 5 対 象 者** 戸畑区内の福祉協力員等
- 6 研修内容**

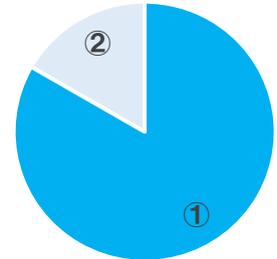
時 間	内 容	講 師 等
13:30～	受 付	
14:00 ～14:10	開 会・オリエンテーション	戸畑区社会福祉協議会
14:10 ～14:25	事業紹介 ①ボランティア・市民活動センター ②地域支援コーディネーター	戸畑区社会福祉協議会
14:25 ～15:55	講 義・意見交換 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～16:00	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	51 人	48 人	48 人	— 才		1 日	2 時間
	18・33	94.1 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	43 件	満足 できたか?	35	7	0	0	0
	89.6 %						



主な意見	■ 地域支援コーディネーターとボランティアコーディネーターのちがいがわかった。相談できる窓口がわかってよかった。
	■ 地域の中で互助することの大切さを熱心に教えていただいた。自分一人ではなく、地域を巻き込んで活動していきたい。
	■ 地域福祉を支えるうえで、必要な心構えを再確認できた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は好評であった。地域における関係機関・団体との連携・協働についての講義は、自身の活動を再確認するきっかけになったと思う。講義に加え、グループごとに意見交換会も行い、充実した内容であった。しかし、グループワークは、話が盛り上がったので、少し時間が足りないと感じた。次年度検討したい。
--------------------	--

■ 研修風景

事業説明		意見交換	
	地域における関係機関・団体との連携協働について		

— 平成 28 年度 —

地域福祉活動専門研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たちのまち、北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要の組織である校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域の課題に対応できるよう「ふれあいネットワーク活動推進事業」に取り組んでいます。
北九州市地域福祉活動第五次計画を進めるにあたり、校(地)区単位の小地域福祉計画づくりは、重要な役割が期待されております。本研修では計画づくりの意義と必要性を理解いただくことを目的としています。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会・北九州市
- 3 開催日時** 平成 28 年 12 月 16 日（金） 13:30～16:00
- 4 開催会場** ウェルとばた 2 階 多目的ホール（戸畑区汐井町 1 番 6 号）
- 5 受講対象者** 校(地)区社会福祉協議会の事務局長、ふれあいネットワーク活動部会長、福祉協力員、民生委員・児童委員など
※本研修は、平成 29 年度に第一次計画並びに第二次計画の策定に取り組む校(地)区社会福祉協議会の皆様に、計画の立案の手法を学んでいただきます。
- 6 申込人数** 100 名程度
- 7 テーマ・内容** 「小地域福祉活動計画づくりの意義と必要性を学ぶ」

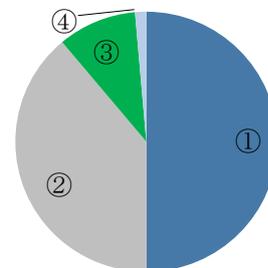
時間	プログラム	講師等
13:30 ～ 13:35	開 会	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 山 崎 克 明
13:35～	オリエンテーション	
13:40 ～ 14:15	講義 「計画の意義と必要性について」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎
14:15 ～ 15:15	パネルディスカッション ～事例発表～	
	◆事例発表① 「小地域福祉活動計画の推進と成果」 ～若松区高須地区の福祉意識の向上～	若松区高須地区社会福祉協議会 会 長 香 月 英 彦
	◆事例発表② 「地域が目指すこれから先の福祉環境」 ～八幡東区枝光第一地区の取り組み～	八幡東区枝光第一地区社会福祉協議会 会 長 兼 國 久
	コーディネーター:福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎	
15:15 ～15:25	休憩	
15:25 ～15:55	講義 「計画の成果や展望について」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎
15:55 ～16:00	閉 会	市社協 ボランティア・市民活動センター 所 長 下 田 俊

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	138人	135人	135人	—才		1日	3時間
	—	97.8%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	118件	満足できたか?	36	28	7	1	0
	87.4%						



主な意見	■ 計画づくりを進める過程で、関係者の意識が高まり、また課題も見えてくるのが理解できた。
	■ 事例発表を聞くことが参考になった。
	■ どの地域も同様の課題となっているが、今回の研修でそれぞれの地域に合う様に方法を考えれば良い事が分かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表は、計画推進状況や課題を持っている事等も参考になった。
	■ 地域の課題は、地域の特性はあるものども似たような課題を持っている事に気付いてもらえた。
	■ 今回の研修で、計画を立て解決に向けて話し合う必要性を感じてもらえた。

■ 研修風景

計画づくりの様子		質疑応答	
事例発表		熱心に聞く受講生	

— 平成 28 年度 —

地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」開催要領

- 1 目 的** 近年、高齢化・少子社会の進展や社会・経済情勢の変化等に伴い、地域社会や家族の機能は変化し、さらには社会的な孤立や経済的な困窮の増加などにより、現在の社会保障や福祉政策のみによる対応では解決に至らない。その中で、私ども社会福祉協議会には、地域福祉を推進する中核的な団体としての役割を果たし、地域の新たな生活・福祉課題が現れています。
- 「互助力」の強化に向けた取り組み等を積極的に行っていくことが求められており、校(地)区社協の「ふれあいネットワーク活動」を中心に、住民がお互いを見守り、支え合い、孤立しがちな人々とのつながりを強め、生活課題の発見や解決を支援していく取り組みも進めて参りました。
- 本セミナーでは、高齢化・少子社会や社会・経済情勢の変化を見据え、これからの地域福祉活動とコミュニティのあり方について、校(地)区で中心的な役割を担う方々と共に考えていくために開催するものです。
- 2 実施主体** 各区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 3階 中ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対 象 者** 校(地)区社協 正・副会長、地区民児協 正・副会長など、小地域福祉活動においてリーダー的役割を担う方 【定員 300名】
- 5 タイトル** 新しい地域福祉とコミュニティの活性化
- 6 日時・内容** 平成 29 年 2 月 15 日（水）13:30～15:30

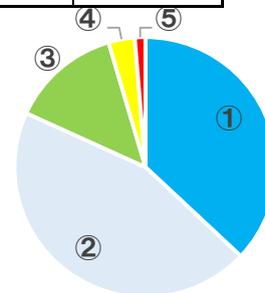
時 間	内 容
13:00～	受 付
13:30～13:45	開 会 北九州市社会福祉協議会 会長 柏 木 修 オリエンテーション
13:45～15:15	講 演 「新しい地域福祉とコミュニティの活性化」 桃山学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授 <small>まつのはな</small> 松 端 <small>かつふみ</small> 克文
15:15～15:30	閉 会 社会福祉ボランティア大学校 校長 山 崎 克 明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 問 う	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	195 人	188 人	188 人	— 才		1 日	2 時間
	—・—	96.4 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	157 件 83.5 %	満 足 で き た か?	57	69	21	5	2



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大変勉強になった。新年度からの活動に役立てたいと思った。 ■ 現実には、私達が認識しているより、深刻化しているように思えた。このことを意識して今後の活動のよりどころとしたいと思った。 ■ 福祉の問題は、年々進んでいるが、この問題を解決するための課題が山積だと思った。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事例を多く取り入れた講演で、地域の課題やコミュニティの参考となった研修会であった。 ■ 国の政策状況や現状がわかりやすく、地域の課題の事例等を多く取り入れて解り易かったとの意見もあった。 ■ 北九州市内の具体的な説明を希望する声があり、講師の選定も課題である。
--------------------	--

■ 研修風景



— 平成 28 年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、地域住民が主体となった小地域福祉活動を校(地)区社会福祉協議会が中心となって展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくかを市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 各区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 6 月 30 日（木）10:00～15:10
- 4 会 場** ウェルとばた 2 階 多目的ホール（北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号）
- 5 対 象 者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員（会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等）に就任された方 **【定員 100 名】**

6 研修内容

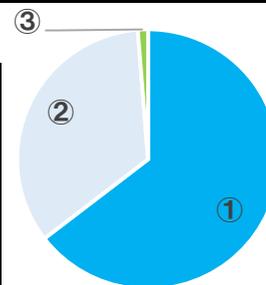
時 間	内 容	講 師 等
9:40～	受 付	
10:00 ～10:10	開 会・オリエンテーション	社会福祉ボランティア大学校 校 長 山 崎 克 明
10:10 ～11:00	講 義 I 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部 長 磯 田 佳 宏
11:10 ～12:10	事例紹介 「事例で学ぶ、校(地)区社協の運営」	【コーディネーター】 九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中 村 秀 一
	事 例 I 「校区社協の運営について」	八幡西区引野校区社会福祉協議会 前会長 山 本 英 樹
	事 例 II 「校区社協の活動について」	小倉南区守恒校区社会福祉協議会 会 長 笹 月 二 男
12:10～	昼食休憩	
13:00 ～15:00	講 義 II 「団体等との連携・協働のあり方を考える」 ～社協の力は地域の力と共にある～	九州大谷短期大学 福祉学科 教 授 中 村 秀 一
～15:10	閉 会	ボランティア・市民活動センター 所 長 下 田 俊

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	92 人	95 人	95 人	69.6 才		1 日	5 時間
	-・-	103 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか と 言う と そうでない	全く そうでない
	84 件	満足 できたか?	51	27	1	0	0
	88.4 %						



主な意見	■ 見守り対象者が町内会に入っていない人が多く、組長さんたちは困惑している。
	■ 事例紹介では、2地区とも縦横の連携がとれており素晴らしかった。
	■ 助け合い活動の仕組みをよく理解し、地域に密着した活動ができればと思う。
	■ 「地域の絆は薄れている」要因の一つは、自治会未加入が増えていること。
	■ 中村先生の講話は、本当の福祉の生き方を学ぶ良い機会だった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 受講生自身がコミュニティの希薄化を実感し、熱心に受講していた。
	■ 失敗例も取り上げた事例紹介は、今後の活動の参考になると思われる。
	■ 地域福祉活動に対し、行政の理想を地域に丸投げをしていると感じる活動者も多く、このような研修等において、互いの理解を深めることが重要である。

■ 研修風景

山崎克明校長の開会挨拶		事例発表	
ユーモアある中村先生の講話		笑顔に満ちた受講者の表情	

— 平成 28 年度 —

まちづくりゼミナール 実施要領

- 1 趣 旨** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。
- 2 テ ー マ** **地域をつなぐ ～ 地域の資源は地域の連携・協働にある!! ～**
 地域の諸団体等と連携・協働することは、新たな事業展開やサロン事業の拡大等、地域資源の発掘や地域力のアップにつながると言われています。
 本年度は、校(地)区社協・まちづくり協議会等と諸団体が連携・協働している事例を紹介し、活動の参考にさせていただくとともに、これからの地域のつながりについて考えます。
- 3 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 4 会 場** ウェルとばた 12 階 H・I 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
- 5 対 象** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員等 30 名
- 6 申込方法等**
 ① 申込方法 電話又は所定申込用紙による郵送・FAX
 ② 申込期限 8 月 5 日（金）まで
- 7 プログラム** 研修時間：毎回 10 時から 12 時までの 2 時間

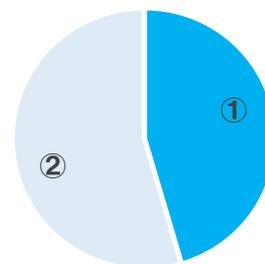
日 程		内 容	講 師
初 日	8 月 18 日 (木)	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 山崎 克明	
		■ 地域のつながりの大切さ ～元看護師による健康相談や健康チェックで 元気一杯のサロン活動～	事例Ⅰ 若松区 藤ノ木校区社協 ボランティア団体ユウカリの会 副会長 井上 千恵美
二 日 目	9 月 15 日 (木)	■ 地域の人に支えられるサロン活動 ～地域の人材を活用し、参加者やスタッフみんなが 生き生き楽しく会話できるサロン活動～	事例Ⅱ 門司区 古城校区社協 浜崎 いつ子 事例Ⅲ 八幡西区 穴生地区社協 姓根ヶ崎 峯 恭子
		■ 地域と企業・団体のつながりから ～地域と密接につながっているからうまれる協働～	事例Ⅳ (株) 光タクシー 社 長 石橋 孝三 事例Ⅴ 社会福祉法人 グリーンユープ 管理者 水摩 静香
四 日 目	11 月 10 日 (木)	■ 地域とつながる ～生活困窮者や障害者への理解が広まるまちづくり～	事例Ⅵ NPO法人 抱 樸 代 表 奥田 知志 事例Ⅶ NPO法人 要 会 代 表 江田 久美子
最 終 日	12 月 15 日 (木)	《まとめ》 ■ 地域のつながりの強化は地域力の強化	社会福祉ボランティア大学校 校 長 山崎 克明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	22 人	18 人	63 人	— 才		5 日	10 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	11 件 61.1 %	満足 できたか?	5	6	0	0	0



主な意見	■ サロン活動の運営の大変さ、楽しさがよくわかった。
	■ 企業の話で、問題意識と実行力には、頭が下がる思いだった。
	■ 様々な問題点や活動内容について振返って聞いて良かった。
	■ 地域性があり魅力はあるが、適応できないものもあると思った。
	■ 地域の問題点は尽きない現状が分かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表は非常に好評で、地域の参考になっていると思った。
	■ 様々な地域団体や企業との協働・連携の必要性を理解いただいた。
	■ 事例の実施には、地域性があり難しい所もあると考えている。
	■ 地域の課題について、他地区の話と共有できる機会ができた。

■ 研修風景

藤ノ木校区のサロン活動事例		企業と団体の地域貢献事例	
2校区のサロン活動事例		福祉団体の地域連携事例	

— 平成 28 年度 —

傾聴ボランティア養成講座 実施要領

- 1 趣 旨** 単に話を「聞く」のではなく、心をこめて「聴く」ことで、人の心を癒すことができます。
本講座では、「聞き上手」から「聴き上手」になるためのコツを学び、相手の心に寄り添うことの出来るボランティアの養成をめざします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 共 催** 戸畑区社会福祉協議会
- 4 会 場** 戸畑区役所 大会議室（北九州市戸畑区千防一丁目 1-1 3階）
- 5 対 象 者** 受講後の傾聴ボランティア活動に意欲的で、全日程に参加できる市民の方（定員 20 名）
- 6 受 講 料** 700 円

7 研修日程・内容

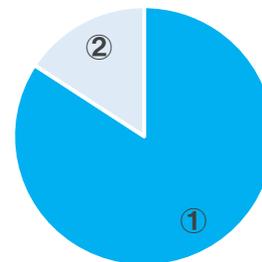
日 程		内 容		講 師 等
一日目 8月 2日 (火)	10:00 ～ 10:10	開 会・オリエンテーション		ボランティア市民活動センター 所 長 下 田 俊
	10:10 ～ 12:00	基 礎 編	傾聴とは	臨床心理士 シャルマ 直 美
13:00 ～ 16:00	ロールプレイを通じて 傾聴体験してみよう			
二日目 8月 3日 (水)	10:00 ～ 12:00	応 用 編	話の内容を 正確に受け止めよう	臨床心理士 シャルマ 直 美
	13:00 ～ 16:00		共感的に聴こう	
三日目 8月 10日 (水)	10:00 ～ 11:05	活 動 に 向 け て	認知症を知ろう	キャラバン・メイト サポートセンター本城 上 田 直 樹
	11:15 ～ 12:15		施設が求める ボランティアとは	
	13:15 ～ 15:55		活動紹介と交流会	傾聴ボランティア活動者の皆様
	～ 16:00	閉 会	ボランティア市民活動センター 研修課長 松田 一喜	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	24 人 3・21	21 人 87.5%	65 人	61.3 才		3 日	18 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか と 言う と そうでない	全く そうでない
	19 件 90.5%	満足 できたか?	16	3	0	0	0



主な意見	■ グループワークを通じて情報交換ができ、今後の活動の参考にしたい。
	■ 傾聴がどういうものか理解できたが、実践が必要だと思う。
	■ 無理せず、自分にできることから始めたいと思う。
	■ 傾聴ボランティアグループの代表の話が聞けてとてもよかった。
	■ 講師の人柄がとても親しみやすく引き込まれた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 傾聴ボランティア活動者に研修のサポーターとして講座に関わってもらうことによって、受講生の関心が高まったので、今後も取り入れていきたい。
	■ 傾聴ボランティア活動団体の代表（3団体）が活動発表し、直接受講生と交流する機会を設定し、受講生の活動体験につながった。
	■ 座学と実践のバランスを検討する必要があると思われる。

■ 研修風景

シャルマ先生の講義		傾聴体験中!	
認知症について講話		ボランティア活動へ向けて	

— 平成 28 年度 第 1 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】実施要領

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 28 年 6 月 12 日（日） 9:15～18:15
北九州市立玄海青年の家（北九州市若松区大字竹並 126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

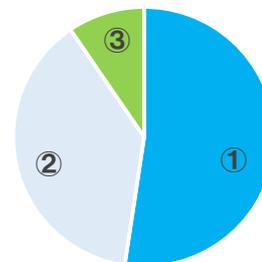
時 間	内 容		講 師 等
9:15～ 9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション	
9:20～ 10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包 健一
10:15～ 11:05		安全・安心運行と緊急時対応	
11:10～ 12:00		運転方法	
12:00～ 12:50	休 憩		
12:50～ 13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添 潤一
13:45～ 14:45		介護技術	
14:50～ 15:50		基礎的な接客技術	
15:55～ 16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師
17:00～ 18:20		福祉自動車運転方法(演習)	
18:20～ 18:25	閉会	ま と め	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	23 人	21 人	21 人	48.6 才		1 日	9 時間
	-・-	91.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と その通り	どちら とも 言えない	どちら か と 言 う と そ う で ない	全く そ う で ない
	21 件 100 %	満足 で きた か?	11	8	2	0	0



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドライブレコーダーの映像等があり、安全運転の大切さを改めて感じた。 ■ 目が見えない体験や杖歩行体験ができ、利用者の気持ちがわかった。 ■ 車いすを福祉自動車に乗せるのが難しかった。 ■ 班毎の車輛、教え方の違いがあり、皆が同様の演習できるようにして欲しい。 ■ 小グループでの演習だったので受けやすかった。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 疑似体験やドライブレコーダーの実写等を盛り込んだ講義は効果的である。 ■ 野外実習等がある研修開催時期の検討及び雨天時の運営方法の工夫が必要 ■ 実習使用の車両型式の統一、或いは、受講生が今後使用予定の車輛の事前把握などにより、研修効果を高めたい。
--------------------	--

■ 研修風景

安全安心運行の基本を学ぶ		只今、杖歩行体験中！	
福祉車両運転技能習得中！		修了証書授与式	

— 平成 28 年度 第 1 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 28 年 6 月 18 日(土) 9:15～11:40
ウエルとばた（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

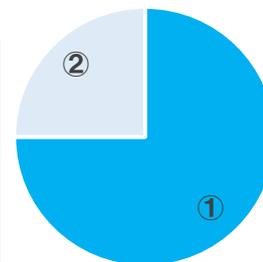
時 間	内 容	講 師 等
9:00～	受 付	
9:15 ～ 9:20	開 会・オリエンテーション	ボランティア・市民活動センター 所 長 下 田 俊
9:20 ～10:10	講 義 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	作業療法士 熊 添 潤 一
10:20 ～11:40	実 技 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	
11:40 ～11:45	閉 会	ボランティア・市民活動センター 所 長 下 田 俊

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	4人	4人	4人	68.5才		1日	3時間
	4・-	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	4件 100%	満足できたか?	3	1	0	0	0



主な意見	■ 研修生への質問が出来て、わかっていなかったことが知れて良かった。
	■ 障害者の乗降方法を学ぶとともにその場に応じた方法を考える事も必要。
	■ 利用者の立場に立った送迎を学んだ。
	■ 実際に車や車イス・杖を使用することで、乗降介助の手法がよくわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型研修は効果が高く、今後も取り入れていきたい。
	■ セダン型は福祉車両に比較して、受講生が減少しており、今後の開催方法等の改善・工夫、事業周知等が必要と思われる。
	■ 福祉有償運送業務に関わる社協職員の受講等について再検討する。

■ 研修風景

少人数での開講【セダン型】		利用者の理解と乗降介助	
セダン型の特徴研究中!		車イス利用者の介助技法	

— 平成 28 年度 第 2 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】実施要領

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 28 年 10 月 16 日（日） 9:15～18:25
北九州市立玄海青年の家（北九州市若松区大字竹並 126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）
- 7 研修内容**

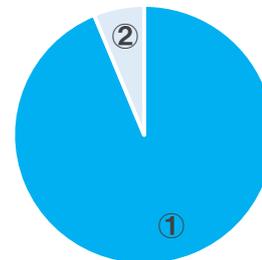
時 間	内 容		講 師 等
9:15～ 9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション	
9:20～ 10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包 健一
10:15～ 11:05		安全・安心運行と緊急時対応	
11:10～ 12:00		運転方法	
12:00～ 12:50	休 憩		
12:50～ 13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添 潤一
13:45～ 14:45		介護技術	
14:50～ 15:50		基礎的な接客技術	
15:55～ 16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師
17:00～ 18:20		福祉自動車運転方法(演習)	
18:20～ 18:25	閉会	ま と め	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人	16人	16人	51.1才		1日	9時間
	-	88.9%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	16件 100%	満足できたか?	15	1	0	0	0



主な意見	■ 送迎サービスを実施するための心構えや注意点を具体的に学ぶことができた。
	■ 実技があり利用者の立場になって考えることができた。
	■ 視覚障害、杖の意味などの体験ができて良いと思う。
	■ 急ブレーキ・急発進など荒い運転は利用者を不安にさせることを学んだ。
	■ 実際のドライブレコーダーの映像は参考になった。

■ 事業点検

点検・講評	■ 擬似体験やドライブレコーダーの実写等を盛り込んだ講義は効果的である。
	■ 野外実習等がある研修開催時期の検討及び雨天時の運営方法の工夫が必要。
(今後の取り組み)	

■ 研修風景

安全安心運行の基本を学ぶ		福祉車両運転技能習得中!	
実技を終えてグループ討議		修了証書授与式	

— 平成 28 年度 第 2 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 28 年 10 月 22 日(土) 9:15～11:45
ウエルとばた（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

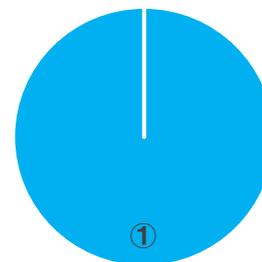
時 間	内 容	講 師 等
9:00～	受 付	
9:15 ～ 9:20	開 会・オリエンテーション	ボランティア・市民活動センター 研修課長 松田 一喜
9:20 ～10:10	講 義 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	作業療法士 熊添 潤一
10:20 ～11:40	実 技 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	
11:40 ～11:45	閉 会	ボランティア・市民活動センター 研修課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	1人	1人	1人	73才		1日	3時間
	1・-	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	1件 100%	満足できたか?	1	0	0	0	0



主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修の中身が濃く、大変勉強になった。 ■ 実技において知らないこともあり認識を新たにした。 ■ 介助される側、介助する側両方の立場を知ることができた。

■ 事業点検

点検・講評
<ul style="list-style-type: none"> ■ 体験型研修は効果が高く、今後も取り入れていきたい。 ■ セダン型は福祉車両に比較して、受講生が減少しており、今後の開催方法等の改善・工夫、事業周知等が必要と思われる。 ■ 福祉有償運送業務に関わる社協職員の受講等について再検討する。
(今後の取り組み)

■ 研修風景

少人数での開講【セダン型】		利用者の理解と乗降介助	
セダン型の特徴研究中!		車イス利用者の介助技法	

— 平成 28 年度 第 3 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】実施要領

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 29 年 3 月 4 日（土） 9:15～18:25
北九州市立玄海青年の家（北九州市若松区大字竹並 126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）
- 7 研修内容**

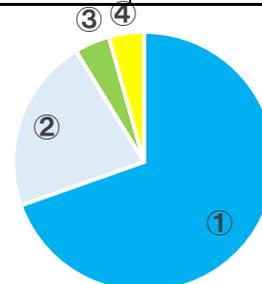
時 間	内 容		講 師 等
9:15～ 9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション	
9:20～ 10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包 健一
10:15～ 11:05		安全・安心運行と緊急時対応	
11:10～ 12:00		運転方法	
12:00～ 12:50	休 憩		
12:50～ 13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添 潤一
13:45～ 14:45		介護技術	
14:50～ 15:50		基礎的な接客技術	
15:55～ 16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師
17:00～ 18:20		福祉自動車運転方法(演習)	
18:20～ 18:25	閉会	ま と め	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	29 人	27 人	27 人	47.5 才		1 日	9 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	25 件	満足 できたか?	16	5	1	1	0
	92.6 %						



主な意見	■ 送迎サービスを実施するための心構えや注意点を具体的に学ぶことができた。
	■ 実技があり利用者の立場になって考え、理解する大切さを学ぶことができた。
	■ 講師の専門知識や実体験による講話で理解しやすかった。
	■ 異なる車種の説明や車イスでの移動介助を学ぶことができ、わかりやすかった。
	■ 実際のドライブレコーダーの映像は参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 擬似体験やドライブレコーダーの実写等を盛り込んだ講義は効果的である。
	■ 野外実習等がある研修開催時期の検討及び雨天時の運営方法の工夫が必要。
	■ 晴天時の実習は特に受講生に好評であった。

■ 研修風景

安全安心運行の基本を学ぶ		福祉車両運転技能習得中!	
実技を終えてグループ討議		修了証書授与式	

— 平成 28 年度 第 3 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第 262 号認定）
- 3 日時・会場** 平成 29 年 3 月 5 日(日) 9:15～11:45
ウエルとばた（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 受講料** 市内福祉有償運送実施団体登録者（予定者）… 1,000 円
上記以外の者 …………… 7,000 円
- 6 定 員** 30 人（定員を超える申込があった場合は調整）

7 研修内容

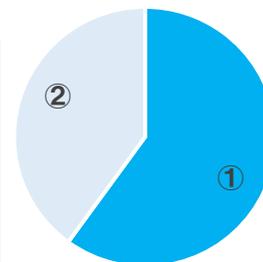
時 間	内 容	講 師 等
9:00～	受 付	
9:15 ～ 9:20	開 会・オリエンテーション	ボランティア・市民活動センター 研修課長 松田 一喜
9:20 ～10:10	講 義 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	作業療法士 熊添 潤一
10:20 ～11:40	実 技 「利用者理解及び 乗降介助等の対応」	
11:40 ～11:45	閉 会	ボランティア・市民活動センター 研修課長 松田 一喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	7人	5人	5人	57.4才		1日	3時間
	4・3	71.4%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	5件 100%	満足できたか?	3	2	0	0	0



主な意見	■ 身体の動きの基本となる重心移動の詳細な講話についてわかりやすかった。
	■ 車・公共の建物・車イスの構造を詳しく学ぶことができた。
	■ 実車にてポイントの確認ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型研修は効果が高く、今後も取り入れていきたい。
	■ セダン型は福祉車両に比較して、受講生が減少しており、今後の開催方法等の改善・工夫、事業周知等が必要と思われる。
	■ 福祉有償運送業務に関わる社協職員の受講等について再検討する。

■ 研修風景

少人数での開講【セダン型】		セダン型の特徴研究中!	
車イス利用者の介助技法		利用者理解及び乗降介助等の対応	

— 平成 28 年度 —

私にもできる災害ボランティア入門講座 実施要領

- 1 趣 旨** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。この災害ボランティアの復旧活動には、さまざまなものがあり、活動者の体力・能力に応じて選択できます。いわば誰にでも何らかの形でできるボランティア活動と言えます。
本講座では、まずさまざまな災害ボランティア活動をご紹介します。そして、その中から「私にもできる活動」を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 8 月 20 日（土）13:30～16:30
- 4 会 場** ウェルとばた 12 階 HI 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
- 5 対 象 者** 市民 定員 30 名（申込みが定員を超えた場合は抽選することがあります。）
- 6 研修内容**

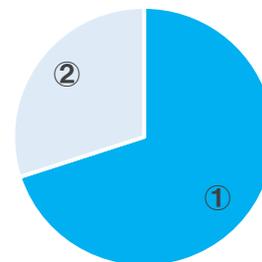
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30 ～13:35	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:50 ～14:25	知って安心、災害への備え	北九州市 危機管理室
14:25 ～15:10	災害ボランティア活動の基礎知識	一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
15:10 ～15:15	休 憩	
15:15 ～16:05	助け上手と助けられ上手 ～災害ボランティア活動における 支援力と受援力～	一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
16:05 ～16:20	これからの活動について ～ボランティア登録など～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
～16:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	25 人	24 人	24 人	— 才		1 日	3 時間
	10・15	96%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらかと 言うとその通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそのでない	全く そのでない
	20 件 83.3%		満足 できたか?	14	6	0	0



主な意見	■ グループワークでは、実際に被災された経験なども交えて、意見を伺うことができてよかった。普段からの地域のつながりが大切だと感じた。
	■ 地域での平時の備えや取り組みが聞けたので、実行していきたい。また、このような講座に多くの人に参加してもらいたいと思った。
	■ 講師の体験に基づいてのお話がよかった。災害時の心構えができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修で、13名が災害ボランティアの登録に至った。次年度も登録者を増やしていきたい。
	■ グループワークを行ったところ、各グループで参加者同士が活発に意見交換を行い、参考になったとアンケートでも好評だった。
	■ 参加者が少なかったため、次年度は、周知の工夫をしたい。

■ 研修風景

危機管理室より災害時の備え等		熊本地震の災害状況	
困りごとや手伝ってほしい人		各班より発表・意見交換	

— 平成 28 年度 —

傾聴ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 傾聴ボランティアとしてのスキルアップを図るとともに、活動者の抱える課題や疑問を解消するために、ワークを交えて学びます。
また、活動者同士の交流会を通して今後のボランティア活動の活性化を目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 5 月 18 日（水）13:30～15:30
- 4 会 場** 北九州市認知症支援・介護予防センター（小倉北区馬借一丁目7-1）
（北九州市医療センター横）
- 5 対象者** 現在傾聴ボランティアとして活動している方 30 名
- 6 受講料** 700 円
- 7 研修内容**

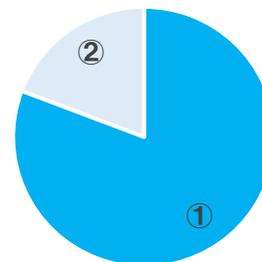
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30 ～13:40	開 会・オリエンテーション	ボランティア・市民活動センター 所 長 下 田 俊
13:40 ～14:40	講 義 「施設が求めるボランティア」	社会福祉法人 容風会 総合福祉施設 おきな の 杜 副施設長 伊 藤 千 里
14:40 ～15:20	施設見学と説明 「カフェ・オレンジ体験」	認知症・草の根ネットワーク 理 事 田 代 久美枝
15:20 ～15:30	閉 会	ボランティア・市民活動センター 研修課長 松 田 一 喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	26 人	26 人	26 人	67.1 才		1 日	2 時間
	2・24	100%					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	26 件 100%	満足できたか?	21	5	0	0	0



主な意見	■ 傾聴の大切さ、意義を教えていただき為になった。
	■ 傾聴が役立っている具体的な説明を受け、これからも続けていきたい。
	■ 傾聴ボランティアと施設との連携の大切さを改めて感じた。
	■ 北九州の中心に素敵なセンターが出来て本当に嬉しいことである。
	■ 認知症の方や家族との関わりなどボランティア活動に大きな示唆を受けた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義と施設見学を同時に実施することができる施設（新設の北九州市認知症支援・介護予防センター）は、受講生に好評であった。
	■ 毎年受講される方がおり、繰り返し受講する大切さを実感させられた。
	■ 傾聴ボランティア活動の可能性を実感できる研修を実施していきたい。

■ 研修風景

楽しさある伊藤先生の講義		真剣に聞き入る受講生！	
「オレンジ・カフェ」体験①		「オレンジ・カフェ」体験②	

— 平成 28 年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 福祉有償運送事業などにおいて活躍している送迎ボランティア活動者を対象に、今後も安全で利用者が安心できる送迎活動を継続できるようスキルアップを図ることを目指しフォローアップ研修を行います。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 10 月 24 日（月） 9:50～15:10
- 4 会 場** 城野自動車学校（北九州市小倉北区霧ヶ丘 1 丁目 15 番 1 号）
- 5 対 象 者** 送迎ボランティア活動者 30 名
- 6 受 講 料** 700 円
- 7 研修内容**

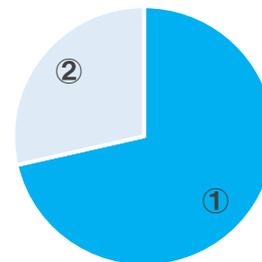
時 間	内 容	講 師 等
9:50 ～10:00	開 会・オリエンテーション	ボランティア市民活動センター 所 長 下 田 俊
10:00 ～11:50	<p>【講義・実技】 「より安心・安全運転のために」 ～運転行動の変化について～ 「車いすの取扱いについて」</p> <p>【実 技】 「運転チェック及びアドバイス」 ～福祉車両用コース～</p>	城野自動車学校 大 森 文 雄 高 木 敏 雄 長谷雄 剛 星 野 友 紀
11:50 ～12:00	【全体講評】	
12:00 ～13:00	休 憩	
13:00 ～15:00	<p>【講 義】 「利用者の特性を学ぶ」</p>	作業療法士 熊 添 潤 一
15:00 ～15:10	閉 会	ボランティア市民活動センター 研修課長 松 田 一 喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	17 人	17 人	17 人	57.4 才		1 日	5 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	17 件	満足 できたか?	10	4	0	0	0
	100 %						



主な意見	■ 教官のアドバイスを日頃の運転がいかに注意散漫であるかわかった。
	■ 利用者に乗せて送迎を行う際は、改めて注意しなければと再認識した。
	■ 講義、実技の中で、高齢者の不注意についてよくわかった。
	■ 車イスの操作方法を学び、今後の活動に役立つと感じた。
	■ 運転時の視野が狭いことに気づいた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 体験型の研修と教官の講評により、研修効果が高まる。
	■ 実際の活動に使用する送迎車両で、日頃の運転技術を再確認することにより、今後の活動に繋がると思われる。
	■ 平日開催であったため、昨年と比較して受講生が減少した。今後の開催方法等改善や工夫が必要と思われる。

■ 研修風景

下田所長の開講挨拶		運転のプロ！城野自動車学校教官	
運転技術確認中！		教官の指導を聴き入る受講者	

— 平成 28 年度 —

災害ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 近年の災害時のボランティア活動では、被災地の災害ボランティアセンターの役割が重要になっています。演習により災害ボランティアセンターの各班の役割を学び、災害ボランティアとしての資質向上を図ります。
また情報提供を通じて、活動へのモチベーションを高めるとともに、災害ボランティアセンター運営スタッフなど、活躍の場を広げながら、災害時に備えます。
- 2 実施主体** 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 9 月 10 日（土） 10:00～15:00
- 4 会 場** ウェルとばた 12 階 HI 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
- 5 対 象 者** 「私にもできる災害ボランティア入門講座」受講生及び災害ボランティア活動経験者等 30 名（申込多数の場合は、抽選させて頂く場合もあります。）

6 研修内容

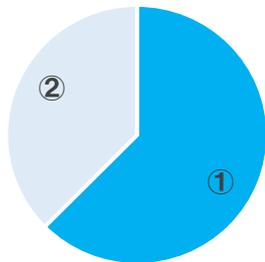
時 間	内 容	講 師 等
9:30～	受 付	
10:00 ～10:10	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10 ～11:40	災害ボランティアセンターを知る	一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
11:40 ～12:40	休 憩	
12:40 ～14:55	災害ボランティアセンターの 各班の役割を体験する	一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
14:40 ～14:55	これからの活動について ～ボランティア登録など～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
～15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	31 人	28 人	28 人	— 才		1 日	5 時間
	17・14	90.3 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	16 件	満足 できたか?	10	6	0	0	0
	57.1 %						



主な意見	■ 被災者の相談を受ける演習では、気づいてあげられないことが多く、申し訳なかった。話をよく聞いて、ニーズを引き出したい。
	■ 午後からのロールプレイングでは、具体的で、机上では分からない細かな点まで確認したり、体験できて有意義だった。
	■ 演習は、実際に活動する際に不安や戸惑いなく参加できる有効な手段だった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修は、災害ボランティアセンターの運営スタッフが少ないという課題を考慮して行われた。演習では、参加者が運営スタッフとボランティアを交互に体験した。スタッフ側は、円滑に対応するための手段を学べたと思う。
	今後、被災地でスタッフとして活動できるボランティアを増やせるよう研修を実施していきたい。

■ 研修風景

災害をボランティアセンター知る		被災者の相談を受ける訓練	
運営スタッフ訓練（受付班）		運営スタッフ訓練（ニーズ班）	

— 平成 28 年度 —

ボランティア・リーダー研修 実施要領

- 1 趣 旨** グループの運営のあり方やリーダーとしての役割を学ぶことで、ボランティアリーダーとしての資質向上と次期リーダーの育成について考える研修です。
 今年度は、ボランティアの実態やボランティアグループとの関係についての情報収集や、リーダーとしての在り方など心理学を通して学びます。
- 2 実施主体** 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成 28 年 12 月 3 日（土） 10 時 00 分～16 時 00 分
- 4 会 場** ウェルとばた 12 階 HI 研修室（戸畑区汐井町 1-6）
- 5 対 象 者** ボランティアグループのリーダー・次期リーダー等 30 名
 （申込多数の場合は、抽選させて頂く場合もあります。）
- 6 受 講 料** 700 円
- 7 タイトル** 「ボランティアリーダーのメンタルケア…楽しさとやる気の心理学」
- 8 研修内容**

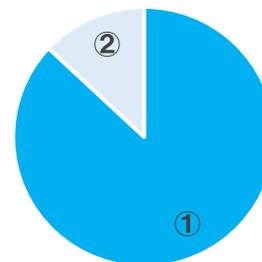
時 間	内 容	講 師 等
9:30～	受 付	
10:00 ～10:10	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:00 ～11:00	地域包括ケアシステムと ボランティアの関わり	北九州市 保健福祉局 地域福祉推進課
	ボランティア・コーディネーターと ボランティアグループの関係	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
11:00 ～12:00	講 義 ボランティアリーダーのメンタルケア …楽しさとやる気の心理学	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
12:00 ～13:00	休 憩	
13:00 ～15:50	演 習 対話力と協力原理を学ぶ	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中島 俊介
～16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	34 人 12・22	29 人 85.3%	29 人	69.4 才		1 日	6 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	24 件 82.8%	満足できたか?	20	3	0	0	0



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターの役割を知ることができてよかった。また、ボランティアコーディネーターにグループの定例会などに参加してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 考え方や活動にパワーをもらうことができた。「言葉の力」を常に心にとめて、さらに楽しく活動をしていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 演習では他のボランティアグループと交流でき、様々な見解が聞けてよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ アンケート結果により、参加者のテーマへの関心が高かったことが伺えた。受講により、さらに活動への士気が高まったようだった。また、演習を通じて、受講者同士の交流が深まった。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次年度からは新規の受講者を募るために、更に周知を工夫したい。

■ 研修風景

地域包括ケアシステムとボランティアの関わり		情報提供	
講義		演習	

— 平成 28 年度 —

企業・社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領

～ 今こそ社会福祉法人がその力を発揮する時 ～

- 1 趣 旨** 社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人では、地域における公益的な取組みを実施する責務が規定されました。
本セミナーでは「今こそ社会福祉法人がその力を発揮する時」と題した基調講演、社会貢献に取り組む実践報告を踏まえ、社会福祉法人が地域の一員として貢献活動をすることの重要性等について考えて参ります。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 法人の社会貢献担当者、人事・総務担当者など
- 4 研修会場** ウェルとばた 2階 多目的ホール（戸畑区汐井町1-6）
- 5 日程・内容** 平成29年2月22日（水）

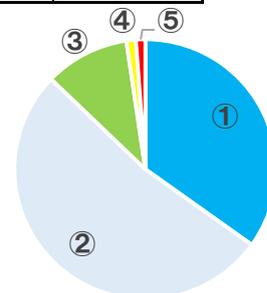
時間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会・オリエンテーション	
13:40～ 14:00	調査報告 「地域における公益的取組みに関する 実態調査から見えてきたこと」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課 担当課長 南 里 佳代子
14:00～ 14:50	講 演 「社会福祉法人の地域公益活動と 地域福祉の推進」 ～今こそ社会福祉法人がその力を発揮する時～	全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会 地域公益事業推進委員長 浦 野 正 男
14:50～	休 憩	
15:00～ 15:50	活動報告	コーディネーター 同上 地域公益事業推進委員長 浦 野 正 男
	報告Ⅰ 高齢者施設での実践 「地域と取り組む買い物支援の現状」	社会福祉法人 広緑会 特別養護老人ホーム あますみ園 ケアイン大鳥居 統括主任 小 林 雄
	報告Ⅱ 保育園での実践 「地域における保育園の役割」 スマイル to Smile～子ども達から広がる笑顔の輪～	社会福祉法人 北九州市戸畑民生事業協会 中原保育園 園 長 井 上 清 美
～16:00	閉 会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					
	112人	102人	102人	—才		1日	3時間
	—・—	91.1%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちら とも言 えない	どちら かと言 うと そうで ない	全く そうで ない
	90 件 88.2%	満 足 で き た か?	30	45	9	1	1



主な意見	■ まだ地域での社会貢献活動に取り組んでいないが、今回のセミナーを参考に実施に向けて検討していきたい。有意義なセミナーであった。
	■ 参考になる研修会であった。それぞれの地域で課題は違うので、社協を中心に課題を明らかにし、より良い解決策を一緒に取り組んでみたいと思った。
	■ 社会福祉法人に求められていることが大変わかりやすかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ セミナーの参加者より、各社会福祉法人の課題や実施に向けての意気込みが感じられる研修会が実施できた。
	■ 事例発表を受けて、奮起する社会福祉法人が多くみられて好評だった。
	■ 研修時期について、年度末の多忙な時期を避けての実施が必要である。
	■ より具体的な事例発表を取り入れた研修会を検討する。

■ 研修風景

調査から見えてきた事		講演に聞き入る受講生	
熱のこもった講演		社会貢献活動の事例発表	

— 平成 28 年度 —

ボランティア・コーディネーター研修 実施要領

～いま求められるボランティアコーディネーションとは～

- 1 **趣 旨** 社会福祉施設でボランティアを受け入れる際の、ボランティアと施設を結ぶ役割を担う職員（ボランティアコーディネーター）を対象に、施設利用者、ボランティア、施設職員それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとはなにかを学びます。
- 2 **実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 **会 場** ウェルとばた 12 階H・I 研修室（北九州市戸畑区汐井町 1-6）
- 4 **対 象 者** 社会福祉施設等でボランティアコーディネーションを担当する職員の方（予定者含む）（定員 30 名）
- 5 **受 講 料** 700 円※テキスト代として別途 540 円（税込）が必要です。

6 研修日程・内容

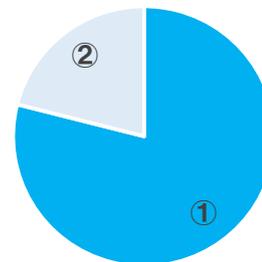
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 7日 (月)	9:30 ～ 10:00	開 会・オリエンテーション	ボランティア・市民活動センター 所長 下 田 俊
	10:00 ～ 12:00	オープニング&ボランティアとは	九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行
	13:00 ～ 16:30	ワークショップⅠ 私のボランティアコーディネーション の現状について考える	
二日目 11月 8日 (火)	9:30 ～ 12:00	ワークショップⅡ 実例をもとによりよい コーディネーションの現場について考える	九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行
	13:00 ～ 16:15	いっしょにやる、ということ	
	16:15 ～ 16:30	フリータイム・閉会	ボランティア・市民活動センター 研修課長 松 田 一 喜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	19 人 3・16	19 人 100%	38 人	44.1 才		2 日	14 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	19 件 100%	満足 できたか?	15	4	0	0	0



主な意見	■ ボランティアには無限の創造力があるという話が印象的だった。
	■ 人の話をよく聴くこと共に行うことで相手に気づき視野を広げることができるという事は、ほかの事にも共通することだと感じた。
	■ ワールド・カフェのやり方は本音も書いて話せる利点があり、活用したい。
	■ ゲームを通じて、共働の楽しさや難しさを知った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ ゲームやワークを通して、情報を共有することの重要性を効果的に学ぶことが出来るので、今後も取り入れていきたい。
	■ 異業種の受講生が交流することで、意見交換が活発になったため、参加者募集研修の周知について検討する必要があると思われる。

■ 研修風景

加留部先生の講義		グループ内でメンバー紹介	
ワールド・カフェ体験中		修了証書授与	



イメージキャラクター

「プチボザウルス」

このキャラクターは、子どもたちの小地域福祉活動から生まれた社会福祉協議会マスコットです。プチボザウルスのプチボとは、プチ「小さな、ほんの少しの」ボランティア（福祉活動などに参加する人）の意味を持ち、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」をすすめる社会福祉協議会の活動をイメージしています。

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター研修課
(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/vol>